

児童の主体的な探究を深める総合的な学習の時間の授業づくり

日立市立滑川小学校

1 はじめに

自ら学び、考えていくことは探究的な学習の基盤である。自ら学び、考えていく中で、価値観の違う個々が互いに作用し(=協働の場面)、新たな価値(協働の学び)が生まれ、問題を解決していくことができる。そして、「自分たちで解決した!」という達成感こそが児童の主体的に学ぶ意欲を高めることにつながると考える。今回は、総合的な学習の時間を軸として考え、他教科・領域においても協働的に学ぶことを重視し、主体的な学びが展開されるよう配慮した。そして、協働の場面を通して、たくさんの達成感を体験させ、自ら何事にも主体的に学んでいく児童の育成につなげていくよう単元を構成していった。

2 実践事例

(1) 単元名 日立のステキ発見

(2) 目標

- ① 地域に関心をもち、自分たちとの生活との関わりの中から課題を見つけ、解決していこうとする態度を育てる。(関心・意欲・態度)
- ② 調べたことを自分なりの方法でまとめ、発表することを通して、自分の見方、考え方を広げようとするすることができる。(課題解決能力)
- ③ 友だちとの活動の中で、自分の思いや考えを伝え合い、お互いのよさに気づくことができる。(表現力)

(3) 指導にあたって

①単元の構成について

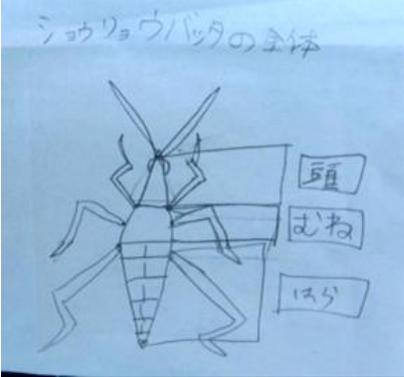
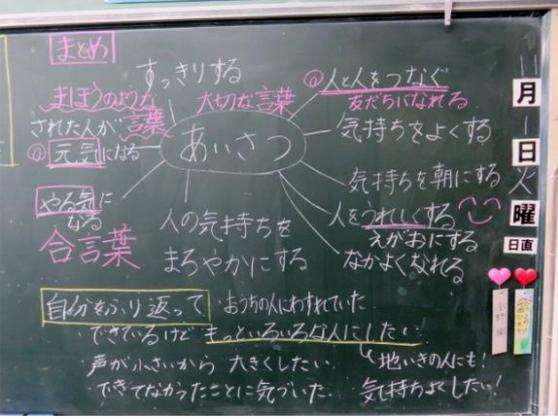
本単元では、児童自らが問題を解決できることを念頭におき、地域学習を取り上げた。その中で総合的な学習の時間の基本である「探究的な学習」の楽しさを知り、主体的に学ぶ児童の育成に重点を置いている。児童はこれまでに生活科を通して、身の回りの自然・人・社会にふれ、今まで知らなかった地域のよさや人と交流することの楽しさを感じ始めてきた。そうした「関わりの中での学ぶ」経験を生かして、3学年では探究的な学習(「課題の設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ・表現」が有機的につながり発展的に繰り返される学習)が学べるよう構成した。以下が単元の構成である。

	小テーマ	発表形式	発表対象
1学期	滑川のステキ発見	ワークショップ形式	学級児童
2学期	日立のおすすめランキング	プレゼンテーション形式	学級児童+保護者
3学期	日立のおすすめカルタ大会	ワークショップ(カルタ)	2学年児童

学期ごとに小テーマを設けることで、スモールステップで自ら問題の解決ができるように配慮した。また、発表形態や発表対象を学期ごとに変化させ、相手を意識することができるとともに達成感のある「まとめ・表現」となるよう考慮した。

②他教科・領域との関連

総合的な学習の時間を軸とし、「他者と協働的に学び、よりよく問題を解決する」という考え方を他教科・領域においても実践していった。以下が取組の一例である。

<p>国語</p>		<p>大事な言葉に線を引き、その言葉から心情や様子を考える活動を重視した。友達の考えと自分の考えを比較しながら、積極的に意見を交換することで、学びを深化させることができた。</p>
<p>理科・朝自習</p>		<p>理科では単元のまとめとして児童たちが大事な事柄を考え、言葉や図などで表した。朝には「自由学習」を行い、学びたい教科や事柄を自分で考え、選択し、取り組んだ。また「自由学習」の一環として児童による「学習プリント」の作成を行った。</p>
<p>道徳</p>		<p>道徳では、キーワード(価値項目)について最初に予想をし、物語から考え、最後に振り返る活動をルーティン化した。教師は板書に徹し、司会の児童が指名していく形式をとった。ぼんやりとしていた価値項目を児童たちの言葉でまとめていくことで、日常に生きる道徳となった。</p>
<p>音楽</p>		<p>リコーダー練習やけんぱん練習では吹けるようになるまで自主練習をし、できると判断したらテストに挑戦した。聞き役はすでに合格した児童が行い、合否判断やアドバイスをしていた。</p>

(4) 学習の流れ

主な学習活動	指導上の留意点
<p>オリエンテーション（2時間）</p> <p>○トライタイムについて知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学区探検や市内一周の校外学習と関連づけて、滑川地区や日立市に関心をもたせるようにする。
<p>〈課題設定〉〈情報収集〉〈整理・分析〉〈表現〉</p> <p>滑川のステキについて調べよう（1学期）</p> <p>○滑川地区のもっと知りたいことを見つける。</p> <p>○ゲストティーチャー・図書館の本や冊子等で調べを進める。</p> <p>○パソコンの操作方法を知り、滑川について関心のあることを調べる。</p> <p>○調べたことを新聞などのわかりやすい方法で表現して、ワークショップ形式で伝え合う。</p> <p>○今後の活動について話し合い、2学期のトライの見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共通体験をもとに、児童の課題追求に広がりが出るように支援する。 ・分かったことや感想を記録させる。 ・インターネット・図書館の本や冊子等の活用・インタビューなど、それぞれの課題解決に適した調べ方を助言する。 ・収集した資料のまとめ方について4年生のホタル発表会をもとに教える。 ・わかりやすく伝える方法を工夫させ、計画的に進められるように支援する。 ・長期休業を生かして、日立市のステキに目が向けられるようにする。
<p>〈課題設定〉〈情報収集〉〈整理・分析〉〈表現〉</p> <p>日立のステキについて表現しよう（2学期）</p> <p>○長期休業や校外学習から日立市のステキについて考え、2学期の計画を立てる。</p> <p>○課題ごとにグループとなり、ランキングを決める投票日に向けて情報収集・整理分析を進める。</p> <p>○魅力が伝わる写真をインターネットを活用して探す。</p> <p>○資料をまとめ、発表をする。(本時)</p> <p>(1回目クラスの児童・2回目クラスの児童と保護者に向けて)</p> <p>○3学期の活動について話し合い、計画を立てる。</p> <p>○カルタ大会の計画、準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報をKJ法やウェビング法などを用いて、比較・分類・関連づけを行うように助言する。 ・1学期の経験をもとにわかりやすく伝える方法を考えさせる。 ・2回の発表を通して「次は誰に発表したいか(した方がいいのか)」を考えさせる。 ・自分たちの思いを伝えるために、必要な係や会の進め方について話し合い、円滑に準備が進められるように支援する
<p>〈整理・分析〉〈表現・まとめ〉</p> <p>自分たちの調べてきたことを下級生に伝えよう。</p> <p>(3学期)</p> <p>○絵札と読み札を作る。</p> <p>○作ったカルタを紹介する。</p> <p>○カルタ大会を開き、調べたことを下級生に伝える。</p> <p>○これまでの活動を振り返り、感想をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの伝えたい「日立のステキ」が下級生に伝わるように、協力し合って絵札や読み札を工夫して作るように支援する。 ・互いの活動を認め合い、満足感が味わえるような場にする。 ・日立市に愛着をもって自ら関わり合うことができる意識を高める。

(5) 本時の学習

① 目標

○「お家の人」と友達に向けて、自分たちが調べてきた日立のステキについて自分なりの方法で伝えることができる。

② 準備・資料

保護者の方への招待状、ワークシート、各自調べた資料（模造紙・写真など）、投票箱、プロジェクター、PC

③ 展開

学習活動、内容	教師の働きかけ、評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>日立のステキを伝えよう＆友達の発表をしっかりと聞こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表のルールを思い出す。 ・ワークシートの使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目のプレゼンテーションで学んだ経験を想起させ、発表時に気を付けることを共通理解する。 ・教師がタイムキーパーを務め、決まった時間内(5分)に進められるようにする。 ・子どもたちで発表を仕上げたという達成感を味わわせるため、準備や発表中、片付けなどに極力教師は手を出さないようにする。 ・教師が積極的に聞き役モデリング（笑顔・拍手・相づち・頷くなど）を行い、聞く側のマナーを意識させ、気持ちの良い発表会になるようにする。 ・プロジェクターで大きく映し出すことによって、児童たちが見つけた魅力の伝わる写真の共有化を図る。 ・発表後に「お家の人」や児童から感想（良かった所・まねしたい所など）を伝えることで、発表者に達成感を味わわせるようにする。また、感想から価値付けしていくことでよりよい発表について考え、今後へ生かせるようにする。 <p><small>(評) 友達の発表の良いところを見つけ、ワークシートに記入できる。 (観察・ワークシート)</small> <small>相手に分かりやすく、自分たちが調べてきたことを自分なりの方法で伝えることができる。 (発表)</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回2学期のトライの振り返りを行い、3学期の活動を話し合うことを伝える。
<p>2 グループごとに発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・かみね動物園・きららの里・さくらまつり ・シーバーズカフェ・シビックセンター・パンポン ・鶴の岬・折笠スポーツ広場 </div>	
<p>3 投票をする</p>	
<p>4 本時のまとめをし、次時の活動を知る。</p>	

3 資料



4 成果と課題

○問題解決的な活動をスモールステップで発展させ、繰り返し行ったことで、何をすればいいのかわか自分たちで考えて進めることができた。

○他教科・領域においても、他者と協働的に学ぶ授業作りの実践を行ったことで何事も「どうしたらよりよくなるのか」を考え、自ら問題を解決しようとする主体的に学ぶ姿勢が身に付いた。

○小グループを組んだことにより、話し合いを進めながら全員が目標を達成し、達成感を味わうことができた。一方でグループ活動が主だったため、身に付いた力に個人差があった。毎時間、振り返りの時間を確保し、自分自身の成長について見つめられるよう今後改善を図りたい。